



問 / 能美ふるさとミュージアム (☎ 58 - 5250 図 58 - 5251)

お知らせ

ミュージアムギャラリー 観覧無料

春季企画展 のみふるができるまで

▶ 会期 3月23日(火)～5月9日(日)

昨年10月17日に開館した、能美ふるさとミュージアム、通称「のみふる」。「のみふる」が開館するまでの舞台裏を、写真や貴重な模型などでご覧いただけます。学芸員のこだわりポイントもご紹介するので、この展示を見れば、もっと「のみふる」を楽しめるかも？



特別展示室 観覧無料

館蔵品展 ～能美ゆかりの作家たち～ (後期展)

▶ 会期 3月2日(火)～5月30日(日)

能美にゆかりのある作家たちを能美ふるさとミュージアム所蔵の作品でご紹介します。後期展は水彩画を中心に展示します。前期展とは異なった趣の作品をお楽しみください。

コラム

学芸員発信！

能美ふるさとミュージアム館内紹介 ～エントランスホールの楽しみ方 ④～

能美ふるさとミュージアムには、無料でお楽しみいただけるスペースが多くあります。今回は、「能美市のいま」と「みんなのつづやき」のコーナーをご紹介します。

「能美市のいま」は能美市の人口や平均気温、特産品の生産量など様々な情報を数字で知ることができるコーナーです。展示をご覧になった方からは「思っているより雨の日が少ない」「市内でこんなに古墳が見つかったの！？」などのお声が。これまで意識していなかった情報を、数字で客観的に知ること、意外な驚きがあるようです。

「みんなのつづやき」は、のみふるで思ったことやわかったことなど、来館者の皆さまからいただいた様々なご意見を掲示するコーナーです。歴史などの学習のためにやってきた小学生たちの感想も多く掲示しています。イラストを添えた可愛いものから、解説をふまえ、しっかりと書かれた感想まで、子どもたちの素直な気持ちが詰まっています。エントランスには「みんなのつづやき」を記入し、投入するボックスが用意されていますので、ぜひ、皆さまのお声をお聞かせください。



「能美市のいま」と「みんなのつづやき」



みんなのつづやきBOX

能美市のSDGsの取り組みを紹介するコーナー



エス！エス！エスディージーズ

SDGs

問 / 市長戦略室 (☎ 58 - 2204 図 58 - 2291)

「お人柄プロジェクト」で持続可能なまちづくり



ゆず美んは、能美市が「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」になるには能美市の何を伸ばすことが一番大事だと思うのだ？



それはもちろん、能美の「お人柄」！

「お人柄プロジェクト」って？

能美市はSDGs未来都市として、「お人柄プロジェクト」を提案し持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。「まちづくりはひとづくり」とも言われるように、多くの人に支えられて私たちのまちは成り立っています。特に、ものづくりのまちで育まれたワザを「極める」お人柄。暴れ川の異名を持つ手取川との闘いの中で自然と身についた「思いやる」お人柄。そしてそれらを未来の子どもたちに「つなぐ」お人柄にスポットを当て、さらに強みを伸ばしていきたいと考えています。

暮らしやすさを日本一、実感できるまち



「いろいろなお人柄」

美味しいお米、華麗な九谷焼、家庭菜園の野菜たちも作り手のお人柄が形となったあかし。

町会町内会の自主活動や見守り活動は互助と信頼がつくり出すお人柄。子どもからお年寄りまで健康で元気に過ごせれば笑顔でつながるお人柄。私たちの周りには、お人柄があふれています。

能美のお人柄をもっともっと自慢していくプロジェクトにしたいと考えています。

「能美のお人柄」アンケートを実施します

能美のお人柄に見える化するために、アンケートを実施します。アンケートは、能美の良いところ、地域の活動や助け合いの活動など、お人柄に関する様々な設問で、どの分野の関心度が高いかなどを調べます。

アンケート回答にご協力をお願いします

- ▶ 調査実施日 令和3年3月下旬
- ▶ 調査対象 満18歳以上の市民3,000人(無作為抽出)
- ▶ 調査方法 郵送による配布、郵送による回収
- ▶ 調査協力 北陸先端科学技術大学院大学、九州大学



能美のお人柄の特徴や得意分野を知って伸ばしていこう！



いしかわ動物園にズームイン！

Zoo

文：いしかわ動物園

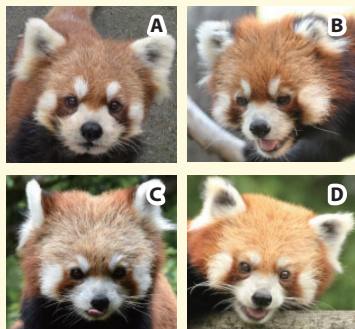
■飼育係は各レッサーパンダを顔で見分けられるの？

答えはいえ。担当者は、写真を見た瞬間に、どの写真が誰かを正確に答えました。識別の観点から、白いマロマユの形状や目鼻立ちの整い方などだそうです。

AとDが何となく異なるのは、皆さんにもご判断いただけると思います。問題はBとCの2頭で、何となく雰囲気似ていると思いませんか。じつはこの2頭、年子の姉妹。一般の職員では識別が困難なこの2頭も、担当者は顔立ちの違いで、一瞬で区別することができるのだそうです。そんな自信満々の担当者に、少し意地悪な質問をしました。日本の動物園にいる300頭近いレッサーパンダの顔写真を全て並べて、その中からいしかわ動物園の4頭を選び出せますか、と。その回答がこうです。「他園に移ったBとCの姉妹は分らないかもしれないけど、おおむね選べます」といいます。

この次に来園された際には、ぜひともこの4頭の顔を見比べて違いを探してみてください。ぱっと見ただけでは、みんな同じような顔に見えると思いますから。

A／「アヤメ」（BとCの母親）、B／「マリン」（アヤメの長女）、C／「サン」（アヤメの次女）、D／「ハル」（サンのお嬢さん）



みんなの図書館



※開館時間、休館日については、ホームページ、各図書館だよりをご覧ください。

おすすめの一般書



商店街のジャンクション
村木 美涼 [著]
早川書房

人生に疲れた3人の男女が出逢ったのは、愛らしい犬のかぶりもの。かわるがわるの中に入って、商店街で映画のチラシを配るうちに、各々の悩みはときほぐされていき…。岐路に立った人に贈る、体も心も包み込む物語。

おすすめの児童書



わたしのあのこのわたし
岩瀬 成子 [作]
PHP研究所

小学5年生の秋は、友だちのモッチの家へ遊びに行った時、大切なレコードをモッチの弟に傷つけられてしまった。秋の心の中に、モッチへのいじわるな気持ち広がっていき…。すれちがいながらも助け合うふたりの物語。

3月は「自殺対策強化月間」です こころやすらぐブックフェア

こころやすらぎが生まれる本の貸し出しや相談窓口の紹介を行います。

▶期間 3月2日（火）～31日（水）

▶場所 寺井図書館

▶問い合わせ

寺井図書館（☎ 57-8400 ☎ 57-8401）

根上図書館臨時休館のお知らせ

休館日 3月21日（日）

根上図書館は第45回全日本競歩能美大会開催に伴い臨時休館します。ご理解のほどよろしくお願いします。



九谷焼探訪



九谷焼の作品や催しを紹介！

今月のコラム「彩色金襴手 花鳥花卉文沈香壺について」

かちょうかきもんじんこうつば

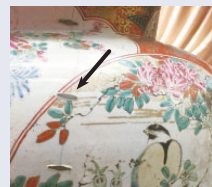
沈香壺とは香木を入れておく大振りな蓋付きの壺で、本来中国では来客の折、蓋を開けて香木の香りを室内に漂わせて客をもてなしたそうです。

後年、そうした使い方をせずとも、単に鑑賞用としてその口が立ち上って肩が張り胴から裾にかけてすばんだ蓋付きの美しい形状のものを沈香壺と呼んでいます。近代以降、大型化した伊万里焼などで制作され、近年では、ホテルのロビー・大広間・ホールや床間・玄関・応接間・リビングなどに飾られるようになりました。

この壺は明治の初めごろのもので九谷庄三の彩色金襴手の様式で花鳥画が丹念に描かれています。本来輸出用に1対で制作されたものでしょう。1点のみで伝世しましたが、大切にされたと思われ、割れの補修跡が見られます。それも金属のかすがい留めで近年ではあまり見ない手法です。我が国では陶器の割れ補修は漆の金直しが主流で、この中国由来のかすがいによる陶磁器補修法は江戸末には廃れた技法とされています。



彩色金襴手 花鳥花卉文沈香壺
明治初葉 高さ58センチ・胴径25センチ



花鳥花卉文沈香壺（部分）
かすがいによる補修に注目（矢印）

五彩館からのお知らせ

問い合わせ 能美市九谷焼美術館 | 五彩館 | （☎ 58-6100 ☎ 58-6086）

【展 示】

■日本工芸会石川支部陶芸部展（紫の間）～3月14日（日）

■コレクション展Ⅲ 現代名工遺作展（緑の間）～3月14日（日）

■第44回伝統九谷焼工芸展（紫の間・緑の間） 3月16日（火）～5月16日（日）

※入館に際しては、基本的感染対策（マスクの着用・検温・手洗い等）にご協力をお願いします。

◆入館料◆

一般 430円・75歳以上 320円・
高校生以下無料
（五彩館と浅蔵五十吉記念館の
共通券です）

今月の手話

手話表現：市民窓口課 重吉 凜子



動画配信中

手話ページQRコード▶



住所



① 両手の指先をつけ、屋根の形をつくる（【家】の手話表現）



② 左手は残したまま、右手は指を曲げて下に向け、左手の横に軽くおろす

右手は【場所】の手話表現です。
【家】＋【場所】＝【住所】



引越越し



①-1、①-2
【家】の表現をした手を、軽く弧を描いて移動させる

申し込み・申請



①-1、①-2
左手てのひらに、右手人差し指の指先をつけ、同時に前へ出す

問 / 福祉課（☎ 58-2230 ☎ 58-2294）

わたしとこの町

File38 出口町



町名看板横の花壇。(写真左：2月上旬撮影)右は昨年夏の花壇。春には、しだれ桜やシバザクラが見事に咲きそります。

私は出口町の花壇と公園の管理をしています。始めたのは9年前のことです。見守り隊の活動で子どもたちの様子を見ていたところ、町名看板の横の草むらで遊ぶ子どもたちの姿が目に入りました。草むらには除草剤がまかれていたので、子どもたちの安全のためには、除草剤を使わずに手入れすることが必要だと感じました。そこから花壇と公園の管理を始めました。

花壇に植えるのに最初に選んだ花は、希望や協調といった花言葉を持つシバザクラでした。そこから徐々に増やしていき、チューリップやフリージア、百日草、水仙など約1400株の花々が季節に合わせて咲くようになりました。綺麗に花を咲かせるための育て方は、本で調べて勉強しています。今では、道行く人が花壇の写真を撮ってくれるほどになりました。管理を始めた当初、空き缶拾いや雑草の根っこ取りなど、荒地を直すだけで半年ほどかかり大変でしたが、花を植えられる状態まで整備できたとき、若いお母さんと園児が「綺麗にしてくれてありが



一面花でいっぱいになるよう計画中の出口町の公園。子どもを見ている保護者の方や散歩中の方が休憩できるようにと、和田さん手づくりのベンチが設置されています。

とう」と私に花束を贈ってくれました。これは今でも忘れられない思い出です。水やりや草むしり、季節ごとの植え替えなど地道な作業が多いですが、花が咲いて綺麗だねと言っていただけのことから励みになって続けられています。花壇の花は3月から少しずつ咲き始め、4月～5月上旬に見ごろを迎えます。近くにいらした際は見ていただけると嬉しいのです。いろいろなものを見ることは、人が成長するための大事な要素の一つだと思ふので、花壇や公園の植物の移り変わりを見ることが、子どもたちの成長のプラスになればいいなと思います。



出口町の花壇と公園を管理している

わたのぼる
和田 昇さん

File37 三道山町



三道山町の八幡神社。三道山町では、昔に比べて町民が増えたことで、様々な行事をこの神社で催すようになりました。

三道山町で生まれ育ち、長年この町の移り変わる姿を見守ってきました。年月を経るごとに変化がある町で、特に町民の数はかなり変化しました。町内の世帯数は、昭和40年代までは30世帯ほどでしたが、今では200世帯以上にもなり、ずいぶん人が増えたと感じます。

三道山町の中で印象深いものと言え、町内にある八幡神社です。私は中学生の頃から、当時町民の

数が少なかったため、神社の管理などに携わっていました。約5年前から今年の正月までは、神社総代も務めました。昔は主にお参りで利用される神社でしたが、昔に比べて子どもたちの人数が増えたことで、お祭りなどの会場としても利用されるようになりました。この神社も町の環境が変化すると同様に、その役割が変化しているのだと、しみじみ感じます。長年、八幡神社や三道山町の歴史に触れていたことが理由で、三道山町以外の地域の歴史にも興味を持つようになりました。テレビやラジオで各地域の情報を入手



約30年前からはじめた調査の旅での写真。嶋崎さん(右)は、毎回奥様(中央)と一緒に各地の歴史などの調査に動いているそうです。

し、気になることがあれば、現地まで行き、観光のついでに調査をしています。約30年前、まだ仕事をしていた頃から、休日を利用してこの調査の旅をしており、今でも毎年続けています。新しい発見をする楽しみができたので、神社に携わって本当に良かったと思います。

今年は新たに町の老人会の会長になりました。老人会の活動は、新型コロナウイルスの影響で昨年からできていませんので、早く活動が再開できる状況になることを願っております。



三道山町の歴史を愛する

しまさきのりたか
嶋崎 範隆さん